

24春闘始動 第1回賃金交渉開催

—本部として春闘要求書を提出—



ひろしま

郵政産業労働者
ユニオン広島支部
(広島郵便局内)



中央本部は2月14日、日本郵政グループ各社に対し裏面の通り「2024年4月1日以降の賃金引上げ等に関する要求書」を提出し、第1回賃金交渉を行うい24春闘がスタートしました。

中央本部を代表し青柳交渉部長が要求書の趣旨説明をおこない、最後に日巻委員長が第一回賃金交渉における組合の考え方を主張しました。



一昨年から続く物価高騰は社員の生活に大きな打撃となつていきます。23春闘では正社員にはベアがあったものの物価高騰には追い付かず、非正規社員に対してはベアゼロで生活苦の深刻さが増えています。

24春闘では、大幅な賃金の引き上げ・時給全国一律1500円以上、物価高騰に伴う特別

手当の支給等を求めてたたかいます。



また、昨年に改悪された夏期冬期休暇の各3日以上、生理休暇2日以上を特別休暇とすることなどを求め、正社員の労働条件を引き下げた偽物の均等待遇を許さないたたかいと物価高騰に苦しむ生活下の今春闘は、グループ各社で働く全社員の奮闘に「処遇改善」で応えるよう強く要求し、交渉を展開していきます。

郵政ユニオン広島支部の組合事務室を獲得しよう! 会社は組合事務室を貸与せよ!

要求内容（抜粋）

- 正社員・短時間社員の賃金 30,000 円以上の引き上げ
- 短時間勤務社員の賃金 33,000 円以上の引き上げ
- 月給制契約社員の賃金 31,000 円以上の引き上げ
- シニアスタッフ社員の基本給 38,000 円以上の引き上げ
- 時給制契約社員の基本給を全国一律制とし、時給を 1,500 円以上にすること
- 物価高騰に伴う「特別手当」の支給
- 年間一時金を正社員 4.5 月、時給制契約社員は平均賃金の 4.5 月とすること
- 新規採用者の年次有給休暇を 20 日にすること
- 希望する非正規社員すべての正社員化と、公平・公正な選考方式に見直すこと
- 一般職の基本給を地域基幹職 1 級と同等にすること
- 一般職から地域基幹職への転換要件の緩和
- 夏期冬期休暇各 3 日以上、生理休暇を特別休暇とし 2 日以上付与すること
- 正社員の大幅増員で労働条件の改善を
- 36 協定における特別条項の廃止